

## 富山県に令和6年度予算要望書を提出

2023年11月24日(金) 社会福祉法人富山県社会福祉協議会(県社協)は、富山県庁において、有賀玲子厚生部長に令和6年度予算要望書を手交しました。

県社協の高城繁副会長、小島伸也副会長が、市町村社会福祉協議会や社会福祉法人・施設など関係団体の現状を踏まえ、「『地域共生社会』の実現に向けた地域福祉の基盤強化と包括的な支援の提供」「ウィズコロナ時代において県民の生命と生活を維持するための福祉支援の継続提供に向けた支援」「福祉人材の確保・定着、育成」「災害時に対応できる地域づくりの推進」「福祉関係団体の育成・支援」などの要望内容を説明しました。



## 令和6年度富山県予算に対する要望事項

今日、地域においては、少子高齢化や人口減少社会の進行、地域社会の関係性の希薄化などを背景に、社会的孤立や虐待、貧困の世代間連鎖など、従来の福祉制度の枠組みだけでは捉えきれない多様で深刻な課題が顕在化しています。

また、3年余り続いたコロナ禍は、福祉、保健、医療、教育、子育てなど、あらゆる分野に深刻な打撃を与えました。

そうした中で、すべての人々が世代や背景を問わず住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「地域共生社会」の実現に向け、福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が、連携・協働して課題の解決に取り組んでいくことが急務となっています。

については、下記の事項について要望するものであります。

- 1 『地域共生社会』の実現に向けた地域福祉の基盤強化と包括的な支援の提供について
  - (1) 住民参加型福祉活動をより一層推進するため、ケアネットセンター運営費補助基準上限額の撤廃など、地域総合福祉推進事業（ふれあいコミュニティ・ケアネット21事業）の充実強化
  - (2) 包括的支援体制の整備に向けた市町村への地域福祉計画策定支援並びに『重層的支援体制整備事業』の移行準備事業・都道府県後方支援事業等の拡充
  - (3) 市町村社会福祉協議会の組織・機能強化への支援拡充
  - (4) 民生委員・児童委員活動に対する関心と理解を醸成するための広報及び活動環境の充実強化並びに研修の充実
  - (5) 日常生活自立支援事業の利用希望者の増加や福祉・生活課題の複雑化・複合化に対応するための実施体制の強化
  - (6) 市町村における成年後見制度中核機関の整備促進と市民後見人の育成、成年後見制度利用支援事業の対象拡充など、総合的かつ計画的な権利擁護支援体制の構築
  - (7) 県条例や「ヘルプマーク」、「ゆずりあいパーキング」の周知・啓発、幼少期からの福祉教育による「心のバリアフリー」推進など、誰もが安心して暮らせる地域づくりのための基盤整備の充実
  - (8) すべての子どもの最善の利益を保障するため、児童虐待防止への対応強化及び貧困の連鎖の解消に向けたきめ細かな支援
  - (9) こどもまんなか社会の実現に向け、すべての子どもや子育て家庭を取り巻く環境の変化に対応した保育・社会的養護関係施策の充実、ひとり親家庭及び児童養護施設退所者等の自立に対する支援強化

## 2 ウィズコロナ時代において県民の生命と生活を維持するための福祉支援の継続提供に向けた支援について

- (1) コロナ禍や物価高騰の影響などによる生活困窮者等の増大に対処できる生活困窮者自立支援制度等の相談支援体制の拡充
- (2) 「障害者優先調達推進法」に基づく調達目標額の増加やイベントの実施による売上の拡大、新規作業のための設備投資への補助制度の導入。また、資材・材料費の値上げや燃料費高騰に伴う財政的支援など、障害のある方の働く場の確保・雇用の拡大・工賃向上に向けた取り組み及び就労支援体制のより一層の強化
- (3) 感染対策を考慮した福祉避難所の運営支援及び必要物品の整備、要配慮者への適切な対応を含めた福祉的視点による災害ケースマネジメントができる人材の配置と養成

## 3 福祉人材の確保・定着、育成について

- (1) 富山県福祉人材センター及び富山県保育士・保育所支援センターの機能強化
- (2) 福祉・介護、保育の仕事の意義や魅力を伝える取り組みや学びの場の拡充及び市町村による取り組みの強化
- (3) 物価高騰や経済情勢に応じた抜本的な処遇改善やキャリアパスの確立、介護福祉士等修学資金・保育士修学資金等による福祉人材の確保及び資質向上
- (4) 富山県福祉カレッジの機能強化
- (5) 介護ロボット・ICT導入に関する相談支援の拡充及び好事例の共有、導入促進や援助技術向上のための研修の実施

## 4 住民が地域福祉活動に主体的に参加するための土壌づくりについて

- (1) 子どもから大人までの福祉教育を通じた地域福祉活動やボランティア・市民活動への参加促進に向けた支援拡充
- (2) ボランティアコーディネーター等の配置、資質向上などボランティア活動推進体制の強化
- (3) 高齢者の生きがい・健康づくり及び社会参加の促進への支援並びに地域活動の担い手養成の充実強化

## 5 利用者本位による福祉サービスの選択と福祉サービスの質の向上について

- (1) 第三者評価制度の推進及び苦情解決体制の整備促進
- (2) 第三者評価機関の拡充及び評価調査者の養成確保

## 6 地域ニーズへの対応力向上と効果的・効率的なサービス提供に向けた経営支援について

- (1) 複数の社会福祉法人が連携・協働して地域の福祉・生活課題を解決するための取り組み推進及び社会福祉法人制度の根幹でもある法人税非課税の堅持
- (2) 介護分野や障害福祉サービス等における生産性の向上に向けた、文書削減や簡素化の推進とともに、介護ロボットやICT機器の活用促進のためのさらなる支援の拡充

## 7 災害時に対応できる地域づくりの推進について

- (1) 災害派遣福祉チーム(DWAT)の体制強化を含めた富山県災害福祉広域支援ネットワークのより一層の機能強化
- (2) 社会福祉法人・福祉施設、事業所が被災した場合の早期の事業再開、復興に向けた事業継続計画(BCP)の策定とその実効性を高める取り組みの支援
- (3) 災害ボランティアセンターの設置・運営費等の公費負担並びに災害法制に「福祉の支援」を明記されるよう国への働きかけ

## 8 福祉関係団体の育成・支援について

多種多様な福祉関係団体の活動等に対する支援